

○ 概要



[すみりよく]

自分らしい住まいを選び維持する力を「住み力」と名付け、生活者の自分らしく満足のいく理想の住まい選び・住まいづくりを応援する「住み力」プロジェクト。ADK不動産プロジェクトと日本女子大学大学院住居学専攻・篠原聡子研究室の共同で、2012年4月に発足しました。

○ プロジェクトメンバー

・株式会社 アサツー ディ・ケイ 不動産プロジェクト

ハウスメーカー・大手デベロッパーなどを中心に、不動産関連のクライアントへ調査分析や戦略立案を専門的に行う、アサツーディ・ケイの社内プロジェクト。

・日本女子大学大学院住居学専攻・篠原聡子研究室

大規模集合住宅における共用部のフィールド調査を行う。対象は日本だけにとどまらず、東アジアにも及ぶ。「マンションコミュニティにおけるデザイン手法100」(野村不動産株式会社と共同研究)では、2011年グッドデザイン賞を受賞。その他、廃校リノベーション、地域再生プロジェクト、国際ワークショップ、クリエイティブフェスへの参加など、多岐にわたる活動に取り組んでいる。

—篠原聡子—

1958年千葉県生まれ。日本女子大学大学院修了後、香山アトリエを経て、空間研究所主宰。

主な作品は、大阪府営大津なぎさ住宅(1999)、ヌーベル赤羽台3,4号棟(2010)、日本女子大学付属豊明幼稚園(2011)、SHAREyaraicho(2012)など。著書に、『変わる家族と変わる住まい』(彰国社・2002)、『住まいの境界を読む』(彰国社・2008)、『おひとりハウス』(いえを伝える本シリーズ・平凡社・2011)などがある。

○ 活動内容

・「全国一斉 住み力調査」を実施 <活動第1弾>

全国の20代から60代の生活者計1,376人へ、住まいへの意識調査を実施。

・新しい住まいの実践者への「お宅訪問調査」を実施 <活動第1弾>

約30人に対して、訪問調査を実施。シェアハウス・コーポラティブハウスなど多様な住居形態を調査。

・11月18日を「いい家の日※」に制定 <活動第2弾> ※日本記念日協会認定

自分の理想の住まいを考える契機とするために制定。日付は、11と18で「いい(11)いえ(18)」と読む語呂合わせから。

・「住み力」WEBサイトを「いい家の日」にオープン <活動第2弾>

※次頁にてご紹介。

○ 「住み力」を構成する3要素

本プロジェクトでは「住み力」を、住まいを選び維持するために重要な3つのSによって定義しています。



自分の「住み力」を知ることで、自分が住まいにどのような価値観を持っているのか、そしてどのSを伸ばしていくべきかが分かります。